

令和4年度 学校自己評価結果報告書

学校法人蒲原学園
幼保連携型認定こども園
蒲原学園幼稚園

1. 教育・保育方針

乳児期

子どもひとりひとりに保育者が向き合い、個々の資質や性格を尊重し、全員が園での生活を楽しめるように努力する。

伸び伸びと園生活を楽しむ中で、幼児期までに備えたい育ちへと導く。

幼児期

新型コロナウイルスの5類移行に伴い、保育者は感染症予防策を講じながら、コロナ前の行事スケジュールを実行する。

子どもたちを取り巻く生活環境が変化している事に留意し、安全かつ楽しい園生活を通して、個々が伸び伸びと成長できる環境を提供する。

2. 重点目標及び計画

- ・新しい生活スタイルに合わせた保育・教育
- ・職員の資質向上に努める
- ・他園の事例に学び、事故や不適切保育の防止に努める

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	取組み内容及び評価理由
新しい生活スタイルに合わせた保育・教育	A	コロナ禍を経験し、感染防止策が日々のカリキュラムに浸透し、実践できている。
職員の資質向上に努める	B	今年度は各種講習への参加を予定していたが、一部予定について、園内のコロナ感染で中止となった。
ワークライフバランスの向上	B	保育職として、自主的に自粛していた旅行など、安全に配慮して個々の余暇を楽しめるよう配慮した。

※評価基準 A：充分達成 B：達成 C：成果が不十分 D：取組が不十分

4. 今後取り組むべき課題

令和4年に入ってからオミクロン株が流行し、子どもの感染が多くなってきた。重症化までは至らないが、行政からのルールでは感染者が出たクラスは5日間のクラス閉鎖となり、保護者の生活にも影響を及ぼしてしまった。

可能な限りの行事は行う事ができたが、来年度に向けて安全と活動のバランスをさらに細かく調整していきたい。

5. 来年度に向けて

子どもたちは日々の生活の中では距離が近く、マスクを着用しないため、どうしても感染防止の行動が徹底できない。感染については保護者の理解も一定数得られているので、今後は子どもの育ちを優先に考えても良いのではと感じている。

令和5年度にはコロナウイルスの扱いが変更になるので、本格的にウイズコロナの園運営を職員全員で実践していきたい。

6. 学校関係者からの評価

特に指摘すべき事項はなく、妥当であると認められました。

7. 会計監査について

公認会計士による会計監査により、適性に運営されていると認められました。

8. 静岡市による私立こども園監査について

文書による指摘事項はありませんでした。